

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (13-01)

団体名	多文化共生センターひょうご	代表者名	代表 北村 広美
事業名	「プラスたぶんか」多文化な背景をもつ家族への子育て支援場所づくり		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1 回」「毎○曜 日」等で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
4月/4回	KICC御影 にほんごプラザ	6 (10)	交流アクティビティ、相談
5月/3回	KICC御影 にほんごプラザ	4 (4)	交流アクティビティ、相談
6月/4回	KICC御影 にほんごプラザ	2 (6)	交流アクティビティ、相談
7月/3回	KICC御影 にほんごプラザ	2 (7)	交流アクティビティ、相談
8月/3回	KICC御影 にほんごプラザ	4 (8)	交流アクティビティ、相談
9月/4回	KICC御影 にほんごプラザ	2 (5)	交流アクティビティ
10月/4回	KICC御影 にほんごプラザ	0 (4)	
11月/4回	KICC御影 にほんごプラザ	0 (8)	
12月/4回	KICC御影 にほんごプラザ	24 (13)	交流アクティビティ、相談、クリスマスイベント
1月/4回	KICC御影 にほんごプラザ	0 (9)	
2月/3回	KICC御影 にほんごプラザ	8 (11)	交流アクティビティ、相談
計40回		52 (85)	

<効果と成果>

参加者は主に集住地域に住んでいる人ではなく、背景上公的支援が届きにくいため孤立している人たちであった。特に保護者の「ゆきづまり感」がみられ、子どもの交流や学習の後に長く話すこともあり、本事業が心のよりどころとして機能していることを実感した。子どもに対しては、楽しく遊びつつ、お絵かきなどを通して正しい鉛筆の持ち方を習得してもらうなど、今後の学習が円滑に進むような配慮も行った。子どもたちの興味や特技などは多岐にわたっており、ブロックやパズルなどの知育玩具、お絵かき道具など新規事業として必要な物品を助成により購入することができた。

9月からは活動場所の運営委託を受けることになり、本事業以外の活動も実施するようになった。地域のボランティアも少しずつ増えてきており、今後さらに支援ボランティアを広げていきたいと考えている。

しかし一方、近隣で増加しているネパール人住民に対しては、広報などを行っているものの、期待した参加者が得られなかった。日本語学習希望などのコンタクトはあるため、時間調整等で対応していきたい。

<今後の展望>

外国にルーツをもつ子どもたちは、公立の小学校に就学するとさまざまな支援が受けられるが、それ以前の年代だと友人や親戚など限定的な人間関係しかもつことができていない。本事業を開始して、より近い距離から外国人家族に接するようになったが、保護者の意識にかなり差があり、実際に事業に参加するようになったのは孤立はしているが比較的経済的にも余裕のある層となった。本事業でもっともアプローチが必要と考えたネパール人住民に関しては、日本語理解が不十分な人が多く、広報などはしているものの保護者の理解を得るのが難しかった。しかし相談事例などは増えており、早期からの社会統合が喫緊の課題であると再認識した。現在、次年度に向けてネパール語対応が可能な人材の求人を行っている。

また、次年度も神戸国際コミュニティセンターの委託を継続することになったので、実施時間の拡大等も含めて本事業を充実させていきたいと考えている。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	450,000
自己資金	104,254
他補助金	100,000
合計	670,454

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金 (円)
直接 経費	人件費	368,800	164,356
	謝金	97,500	97,500
	印刷費	69,786	69,786
	旅費交通費	32,540	32,540
	その他(消耗品、会場費等)	60,058	60,058
	小 計	628,684	424,240
間接経費(一般管理費)		41,770	25,760
合 計		670,454	450,000